

編入学合格Q&A

編入学年度:2026

受験大学	山形	大学	人文社会科	学部 学類	人文社会科	学科	専攻 コース
本学 在籍学科	キャリア教養学科		学籍番号			氏名	

Q1. 編入学を考えたのはいつからですか。また、その理由を教えてください。

第一志望の大学に合格できず浪人を考えていましたが、桜の聖母短期大学のホームページで編入対策のためのサポートが手厚く行われていることを知り、受験しました。また、入学試験の面接の中で、人生はいつでもやり直すことができると背中を押してもらい、この場所で頑張ろうと思いました。

Q2. 編入学までのプロセスを具体的に教えてください。（例：1年生の〇月に資料を取り寄せた 等）

大学ごとに試験内容が異なることを踏まえ、どの大学にも対応できる力を身につけるため、1年生の頃から多くの英語の授業を履修し、外部試験にも挑戦してきました。1年生後期からは、編入対策が本格化し、キャリア教養特講や専門英語演習を受講することで、知識を体系的に深めていきました。2年生の夏には、志望大学のオープンキャンパスに参加し、実際に大学の雰囲気を感じるとともに、模擬講義を受けたことで「この大学で学びたい」という思いが一層強まりました。夏休み期間中は、学生ホールや図書室を利用し、勉強に励みました。また、面接練習や志願理由書の添削を先生方に何度もお願いをし、加えて、編入学試験に合格した先輩方からもたくさんアドバイスをいただきました。

Q3. 編入学のための学習指導はいつからどのような形で行われましたか。

授業以外では、先生方に事前にアポイントメントを取り、面接指導や志願理由書の添削をしていただきました。

Q4. 編入学対策で努力したことを教えてください。具体的にいつからどのような勉強をしましたか。

私は「観光農業」を研究テーマにしていたため、まず山形県の地形、歴史や文化についての基礎を学ぶことから始めました。口頭試問でどのような質問にも対応できるように、山形県に関する資料を読み込み知識をひろげるとともに、山形大学の特徴や教授の論文についても調べました。

Q5. 編入学対策において、教職員のアドバイスで役に立ったことを教えてください。

「何事にも挑戦することに意味がある。」この言葉が私の可能性を広げてくれました。福島市の活動に積極的に参加したことで地域おこしに興味を持ち、大学を選ぶきっかけになりました。合格時には、「大学受験は相性や縁があるから、その大学で花を開かせて目標を持って頑張る」と応援してくれました。

Q6. 編入学対策において、桜の聖母短期大学の学びで役に立ったことを教えてください。

キリスト教学の教えに「タラント」の話があります。人はそれぞれに賜物を与えられていて、与えられた能力や機会をどう生かしていくのかは自分次第であるという話です。私は、桜の聖母短期大学で様々なことをチャレンジしました。短期大学での学びや経験が合格に繋がったのだと思います。

Q7. 編入学に対する意識（モチベーション）の変化を教えてください。

①大学受験のとき

不安でいっぱいでした。

②桜の聖母短期大学に入学後

学校生活への期待や友人との出会いなど楽しみにしていることもたくさんありましたが、頭の中では勉強や編入のことばかり考えていました。

③編入学試験の前

絶対に受かるという強い決意がありました。

④編入学試験に合格後

手ごたえはあったものの、すぐにホームページを開く勇気はありませんでした。受験番号を見つけた時は、何度も見返して、涙が溢れました。

Q8. 編入学を目指す後輩にメッセージをお願いします。

頑張るって積み重ねた努力は、一生消えない財産になります。支えてくれる周囲の人達への感謝を忘れずに、本番では、自分の持っている力のすべてが存分に発揮できるように願っています。